

月報

巻頭の辭に代ふ

會員 渡邊 忠三

我日本労働大森組合は從來日本労働組合大森支部と稱し其本部の支配下にありしものなるが本年六月或る條件の下に今の名稱に更め日本労働組合と分離獨立し會則規約を更め現在の狀態となりたるものであります而して本組合は其綱領に示す如く會員の福利を増進し思想の向上智識の發展を迅速ならしめんと庶幾するものであります。此目的を達するには幾多の方法ありと雖も其最も理想に近きものは識者の講話を聞くか或は會員各自の胸中に藏する處の議論を發表するに不如である之れを行はんが爲め近日會員大會を開き其席上相互に不平なり得意なり失意なり論議せられんことを又次號の會報へも各自の

- 會計主任 加藤石松 北道田八一
- 會計 松尾龍藏
- 全 渡邊忠三 小石川區西古川町廿七
- 全 板垣己之松
- 全 田口元治
- 書記
- 全 幹事 中里耕平 小石川區久堅町七一
- 全 小池松次郎 入新井町不入斗二三七
- 全 清水藤吉 入新井町不入斗一八〇
- 全 吉田友吉 入新井町不入斗一九二
- 全 山口定義 芝區西應寺町六〇

大正九年七月

日本労働大森組合

- 全 島田春 大森町谷戸ノ宿三二七八
- 全 松本茂七 大井町四二二三
- 全 近藤平太郎 小石川區久堅町六六
- 全 手塚重次郎 入新井町不入斗二六一
- 全 思田鉄五郎 小石川大塚坂下町一八七
- 全 菱沼敬太郎 入新井町不入斗二九二
- 全 津浦豊吉 蒲田村新宿甲一〇〇
- 全 近藤太二郎 蒲田村新宿六五九一
- 全 笹原政二郎 北品川百反九四四
- 全 佐藤三郎助 川崎町新地三三六
- 全 日下權藏 大森町南原四九

在厚郡入新井町不入斗六〇
發行所 日本労働大森組合
編輯人 森本幸助
同 入新井町不入斗三三二
印刷所 渡邊樂次郎

發行に就て
森本 幸助

意見を縦横に堂々と發表せられんことを希望して不止又福利増進に就ては別記の各商店と特約を結び時下より安價なるものを購求其目的の一斑を満さんとす之れ等の商店を利用せられんことをおすめずるものであります本號より自分の少なる愚感を書いて見たいと思ひ筆を持ちても古來謂へる如く言は意を不盡書は言を不盡と思ふ十分の一も書くことが出来ず残念ながら思ひ止まり次號より少しづつ書く豫定なれば諸君に於ても前述の如く縦横論說筆堂々の御投稿あらんことを編輯一同に代り御願ひいたします終りに望み尚希望する處は各位運動の途路は徽章を佩用せられたし而して本組合の氣勢を揚げられんこと切望の至に不堪此書因より文を不成幸に諒讀の榮を給へ

機關紙發行計畫は屢々有りたれど御承知の通りの財政の關係のため實行苦難致して居り升然し本組合の役員諸君が如何なる事業に働きつゝあるや會計其他の金錢の支出等諸君に報告する期會が無くては自分等の責任上申譯ないと先日慰安會の席上會計報告と諸般の事業報告を致し升たが一般の諸君に行届か無いので貧弱ながら財政の許す範圍で本紙を發行せし由縁で有ります幸に諒とせられたし本組合も諸君の御盡力に依て日に増盛大になり諸君の熱心なる努力に依りて現れたる賜に外ならざるのであります自分初め役員一同今た世渡りの道になれず世情を知らず從て諸君の御助力を待つの外なき有様なれば御諒察有つて今後益々熱誠なる御盡力と共に御指導有らん事希望する次第であります就きましては毎月發行は目下の處不能のため次號は拾一月

中に發行します故御心付きの事を御投書被下様御心掛けありたし自分の考ひでなくも差支有りませぬ種類は如何なる事でも有益な御面白し事をどしどし御投入被下様希望します投書は入新井不入斗一八〇清水方日本労働大森組合事務所宛に差出人の住所氏名を明かに書入ること不明の分は採りませぬ

大正九年六月以後
八月至共濟金報告

計金 八拾八圓八拾七錢
計金 八拾八圓八拾七錢
計金 八拾八圓八拾七錢

大正九年九月
廉賣決算報告

計金 七拾八圓八拾七錢
計金 七拾八圓八拾七錢
計金 七拾八圓八拾七錢